



Title	β -TCP配合ヒトI型コラーゲン様リコンビナントペプチドスキャフォールドの歯周組織再生効果 : イヌ3壁性骨欠損モデルにおける検討 [全文の要約]
Author(s)	吉野, 友都
Description	この博士論文全文の閲覧方法については、以下のサイトをご参照ください。 https://www.lib.hokudai.ac.jp/dissertations/copy-guides/
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(歯学)
Dissertation Number	甲第15021号
Issue Date	2022-03-24
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/86065
Type	doctoral thesis
File Information	Yuto_Yoshino_summary.pdf



学位論文内容の要約

学位論文題目

β -TCP 配合ヒト I 型コラーゲン様リコンビナントペプチド
スキャフォールドの歯周組織再生効果
ーイヌ 3 壁性骨欠損モデルにおける検討ー

博士の専攻分野名称 博士（歯学） 氏名 吉野 友都

抄録

ヒト I 型コラーゲン様リコンビナントペプチドは、遺伝子組み換え技術によってアルギニン-グリシン-アスパラギン酸配列を豊富に含み、動物由来成分を含まないバイオマテリアルとして注目されている。これを顆粒状に成形し (RCP)、さらに β 型リン酸三カルシウム (β -TCP) 微粒子を配合した β -TCP/RCP は、良好な生体親和性と骨形成能を示すことが報告されている。そこで本研究では β -TCP/RCP をビーグル犬に作製した実験的歯周組織欠損部に埋植して歯周組織再生効果があるかどうかを検討した。埋植後 8 週におけるマイクロ CT 画像解析の結果、 β -TCP/RCP 埋植後の新生骨量は対照 (Ctrl) 群と比較して 2.2 倍多く、両群間に有意差を認めた ($P < 0.05$)。組織学的所見から、埋植された β -TCP/RCP の周囲や内部に新生骨様組織の形成を認め、 β -TCP/RCP 埋植によって歯根膜様組織が 2.1 倍多く形成され ($P < 0.05$)、歯肉退縮を有意に抑制した ($P < 0.05$)。以上より β -TCP/RCP は歯周組織再生材料として有効であることが示唆された。